

令和7年度の活動報告 及び 令和8年度の活動計画

異常気象分析検討会事務局
(気象庁 大気海洋部 気候情報課)

目次

1. 令和7年度の活動報告
2. 令和8年度の活動計画
3. 今後の活動についての意見交換等

令和7年度の活動報告①

- 異常気象分析検討会・作業部会委員の任期開始（2025年4月から2年間）
- 報道発表の改善等に向けたヒアリングの実施（11～1月）
- 異常気象分析検討会第1回の開催（2025年9月5日）
 - » 報道発表「令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等について」
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2509/05b/kentoukai20250905.html>
- 異常気象分析検討会第2回の開催（2026年3月3日）
 - » 要因分析結果に関する情報発信の強化について（議題1）
 - » イベントアトリビューションの迅速的手法の紹介とその利用に関する意見交換（議題2）
 - » 2025年の気候系の特徴とその背景についての意見交換（議題4）
 - » 2025/26年冬の気候系の特徴について（議題5）⇒報道発表あり

令和7年度の活動報告②

- 検討会分析結果に関する論文発表および学会等での発表
 - ▶ 昨年度第1回異常気象分析検討会での「令和6年7月以降の顕著な高温と7月下旬の北日本の大雨の特徴と要因」に関する検討結果を纏めた概要論文を、日本気象学会英文レター誌SOLAに掲載、およびJpGUにて発表
Takemura, K., et al. 2025: Large-Scale Factors for the Persistent Extreme Heatwave over Japan in 2024 Summer and Late-July Heavy Rainfall in Northern
<https://doi.org/10.2151/sola.2025-040>
 - ▶ 第1回異常気象分析検討会での「令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等」に関する検討結果を纏めた概要論文を、SOLAに投稿・受理（掲載準備中）
Takemura, K., et al.: Prolonged extreme heatwave over Japan in 2025 summer with July dry condition and early-August heavy rainfall
- 気候系診断会議（気象庁で毎月実施）や、異常気象分析メーリングリストを通じた議論
- 気候系監視速報の改善
- 異常気象分析ツールiTacsの更新

異常気象分析ツールiTacsの更新

- 搭載サーバーが、2026年3月上旬にリプレースされます
 - iTacs5で用いている描画ソフト GrADS は、更新が止まっており、セキュリティ上、新サーバーに搭載することができない
 - iTacs5で用いているユーザーインターフェース Ruby on Rails は、バージョン管理や複雑なソースの問題で、維持管理が難しい
- 開発・維持管理コストが低い python で iTacs6 をゼロから新規開発
 - 3月上旬からiTacs6のプロトタイプを公開
(JRA-3Qの平面図やホフメラー、鉛直断面図やシンプルな回帰分析などを搭載)
 - 今後も開発を進め、2026年夏前には、iTacs5とほぼ同等な機能を実装予定
(時系列図の経年重ね合わせ図など、追加する機能も計画中)

※ iTacs6のプロトタイプでは描画できない図については、別途作成可能なので、必要な場合には事務局まで依頼してください。

令和8年度の活動計画

- 異常気象分析検討会（会合）の開催
 - 来年3月頃（活動のまとめ/次年度計画の検討）
 - 異常気象発生時
- 異常気象分析検討会の分析結果の更なる調査
 - 2024年夏の北半球中緯度における高いSSTが対流圏高温に与えた影響とそのメカニズム
 - 夏季北太平洋中緯度帯における下層雲-SSTフィードバックと太平洋十年規模振動PDOとの関連性、及びその大気海洋結合モデルでの再現性評価
 - ENSOに依存する冬季日本の気温変動度とその季節予測精度評価
- EAの実施体制に関する検討
- 異常気象分析検討会の報道発表の改善に向けた取り組み

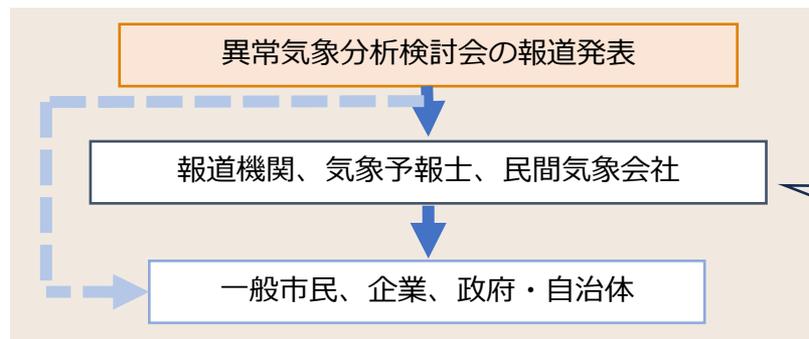
令和8年度の活動計画

- 異常気象分析検討会の報道発表の改善に向けた取り組み
 - 令和7年度：報道発表の改善に向けたヒアリングの実施・改善案の検討

令和8年度の取り組み案

- 報道発表のタイミングと内容の改善
- 専門用語をそのまま用いる用語と言い換える用語に分類
- 言い換える専門用語の言い換え辞書を作成
- 今後の模式図のひな型として、いくつかの典型的な模式図の作成を検討
- 代表的なメカニズムのわかりやすい模式図を用いた解説を気象庁HP上に作成
- 異常気象分析検討会開催後（1週間後など）に、予報士向けの解説会を実施する

報道発表の情報伝達構造



まずは社会に向けて情報伝達をする、報道機関や気象予報士等（第一次ターゲット）に向けた取り組みを目指す